

平成 24 年 6 月 25 日

保護者 各位

練馬区立関中学校
校長 勝亦 章行

スズメバチ・チャドクガに注意

紫陽花の色が目にも鮮やかに映ります。保護者の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、スズメバチ、チャドクガについてお知らせします。学校の近隣、学校敷地内で発生しています。ご注意ください。

(1) スズメバチ

関町北小学校からの情報によると、関町北小学校北門の近くの雑木林に、スズメバチがいるとのこと。その雑木林の中に、巣があるのかは未確認とのことです。

関町北小学校児童だけでなく、関中生でも通学する際に利用する道に面しています。スズメバチは、人をみれば必ず襲ってくるものではありませんが、注意して下さい。

蜂が近づいても手で払ったりしないで姿勢を低くして静かに離れる。頭の黒髪や目を手のひらで覆う。(黒はスズメバチの攻撃を誘う!) 大声を出したり手で払うと、蜂が興奮して仲間を呼び寄せる。蜂の眼は地表近くの低い位置は見えないので姿勢を低くすれば蜂の視界から逃げられる可能性が高くなる。

スズメバチは、一度しか刺さないミツバチと違って、大きなアゴで服や皮膚にかみつき、何度も刺すので、刺されたら、刺された場所を口で吸って少しでも毒を出し、できるだけ早く病院で治療を受けましょう。

(2) チャドクガ

関中学校の敷地内に、チャドクガが発生している痕跡があります。大規模な発生には至っていません。すでに教育委員会には連絡をとっています。学校としても駆除をしています。チャドクガの毒針毛に刺されると炎症を起こします。注意して下さい。

★関中学校で確認しているチャドクガいる場所

- ① 正門、左の植え込みの中 通常、生徒が近づくことはない場所です。
- ② 校庭体育倉庫の裏 通常、生徒が近づくことはない場所です。
- ③ 校庭芝生近くの南側(新校地のそば)の植木 近寄らないよう注意して下さい。

チャドクガは卵、幼虫、繭、成虫とも毒針毛をからだに持っています。黒と橙色の縞模様。幼虫の背面には 50 万本もの微細な毒針毛が群生しています。毒針毛が皮膚に触れたり、刺さったりすると皮膚炎を発症し、激しい痒みに悩まされます。

発生時期：年 2 回(6～7月、9～10月頃) 年 1 回(6～7月頃)

チャ(茶)、ツバキ、サザンカしか、寄生しません。もし、チャドクガの毒針毛に触れた場合は、

- * セロテープを貼って、皮膚に付着した毒針毛を取り除きます。
- * 勢いよく洗い流します。
- * 毒針毛に触れて湿疹など異常を感じたら出たらすぐに医師の手当てを受けましょう。